

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域、家庭的な雰囲気の中で個々の尊厳、人格を尊重しその人らしい生き方を支援している。又、思いやり、感謝の心を持ち穏やかな笑顔で生活できるよう理念に作りあげている。	○	住み慣れた地域の中で、ご家族と共にご利用者の自立支援に努め、ご利用者のニーズに沿ったプラン、満足できるサービスが提供できるよう努力したい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人理念は介護員室に貼り、朝の申し送り時に唱和、理念を共有し日々努力している。ホームの理念はご利用者、ご家族、来荘の方々にも見えるようホールに貼ってあり、理念に添えるよう心掛けている。	○	法人・ホーム用理念の内容に添う事が出来る様、職員全員で創意工夫を惜しまず努力したい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	うらら広報紙をかかりつけ医院に配布し町内の方に見て頂いたり、運営推進会議にボランティアの方、商店の方達にも参加して頂き情報交換したり、理解を得る様にしている。	○	今後も多くの町内の方達にグループホームについて理解して頂ける様努力したい。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームの立地条件が悪く、中々日常のお付き合いができないが、自治会長さんへの挨拶に伺い、交流が持てる様お願いしている。	○	隣近所の人とお付き合いができるような機会を設けたい。又、ホーム3棟を上手に活用しご利用者に楽しんで頂きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティアの方により「こらっせ」というサロン活動に参加させて頂いたり、ボランティアの方が一緒に清掃をして地元の方々と交流を図っている。	○	継続して地域の方々とコミュニケーションを図れるよう取組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>認知症グループホームについて多くの高齢者の方々に理解して頂く為の場として提供したい。</p>
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>今後も自己評価の意義を意識し、質の高い満足できるサービスを提供出来る様、より良いホームを目指していきたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>町内ボランティアの方々の意見、ご家族の評価等も参考に「利用したい。」「利用して良かった。」と言えるホームを目指したい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>今後も行き来する機会を作り相談・指導を仰いでいきたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>全職員が知識を高めるため、研修や勉強会を開催したり、参加出来る機会を与えたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>全職員が知識を高めるため、研修や勉強会を開催したり、参加出来る機会を与えたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所申し込みの際に不安、疑問点、悩み等をお聞きして、説明し理解を図っている。更に契約時も、契約書・重要事項説明書でも説明し理解を得ていると同時に退所指導も行い話し合いを持っている。	○ 入所の受け入れ・見学を随時行い、十分な説明を行っていきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者が意見、不満、苦情を言えるよう雰囲気を作りをしている。又、年に1～2回ご利用者集会を開催。満足できる様カンファレンスを開催し改善に努めている。	○ 各棟コミュニケーションが図れない時は、管理者とお茶を飲み、言いやすい雰囲気作りを工夫しコミュニケーションを図っている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回うらら便りで、各自の生活、健康状態を報告。うらら広報紙でも生活振り、職員の異動、職員の業務活動を4ヶ月に1回紹介している。と同時に預かり金台帳をコピーし配布、確認印を頂いている。	○ 継続していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成やモニタリング時、来荘時に不満・苦情等相談しやすい雰囲気を作り、苦情の際は早急にリーダーを中心に対応出来る体制を作っている。又、ご家族の意向に添える様な対応をしている。	○ ご家族懇談会においても、ご家族と信頼関係を構築し、いつでも相談できる様な対制作りに努めていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者会議、接遇改善委員会、食事研究会、職員会議で職員の困り事、意見、改善点を上げている。反映出来る意見を参考にして実施している。	○ 会議等は本部、副理事長、栄養士が出席。本部がうらら全体を把握し、理解を図る様に取り組んでいる。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご利用者や、ご家族の状況、行事等通常体制では不都合のある場合には随時職員の確保、及び勤務調整を行っている。又、必要な時間帯は3棟で調節し対応に当たっている。	○ 継続していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は極力最小限度で抑えてはいるが、職員間、職員とご利用者間に問題が発生した時等に対応している。又、職員の勉強の為に異動はあるが年1～2回であり馴染みの関係は確保している。離職願いがある場合良く話し合いを行っている。</p>	<p>○</p> <p>継続していきたい。</p>
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人には新人用マニュアル(法人、ホーム)に添って対応。うらら独自で年間の内部研修、法人研修等できるだけ受けるよう勧めている。又職員段階に応じての研修を受講する機会を与えている。各自個人的な資格取得の講習会も同様である。</p>	<p>○</p> <p>全職員に機会を与え、レベルアップに努めたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>あまり交流する機会がないが、各種研修で来荘された施設との交流を通じ、情報を得たりサービスの質の向上を図っている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>各種の飲食会、慰安会を行っている。職員間でも休憩時間に話し合ったりしてコミュニケーションを図っている。又、研修を受講し内部研修でも取り上げている。棟の移動等も実施している。</p>	<p>○</p> <p>ご利用者の生活にも影響するので職員がストレスを抱え込まない様な明るい楽しい職場作りに努めたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員得意分野、趣味等を活かし活動してもらい良い成果を上げたり、努力している部分が見られたら称え認めてあげる。評価をしモチベーションを上げている。</p>	<p>○</p> <p>各種講習会、研修会に参加して頂き各自技術、知識向上が図れるように心掛けたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前は本人に必ず面会し、直接本人から話を聞き入所についての気持ちを確認している。又、来棟時は、レクリエーションや食事などを体験して頂き、雰囲気を感じて頂く様にしている。	○	相談、照会、疑問点等ご利用者が安心して理解できる対応をしていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	待機が長くなる場合は、年に1度現状確認の電話をさせて頂き、本人・ご家族の様子、希望等聞かせて頂いている。	○	相談を受けた時から当法人のご利用者として対応していきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	電話相談や照会を受けた時、地域密着である事を理解頂き入所対象であるか確認し、申し込み来棟時日常生活状況を確認しながら、その方に合ったサービス利用を勧めることもある。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には事前に家庭訪問を行ったり、本人にホームに来てもらい見学及び食事やレクリエーションに参加して頂くなど「1日体験」をして頂いている。入居当初は状況に応じご家族と連携を密にして、慣れるまで自室に目印をしたり声掛け・案内に配慮している。	○	本人が安心して生活に馴染んで行かれるようご家族と連携を取りながら行って行きたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	朝の清掃、食事の片付け、裁縫など共に行う毎日の中から学び、支えあう関係を築いている。又、お互い協力し合いながら共に笑ったり、悩んだり弱いところを補いながら楽しく生活をしている。	○	余暇のコミュニケーションを大切にし意志の疎通を図って行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	懇談会やご家族を招いての行事、面会を通し、支援のあり方やご利用者の状況報告をすることにより、理解、協力を頂き、共に支えていく関係を築いている。	○	月に1度、うらら便りによる現況報告。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	職員は両者とのコミュニケーションから、ご利用者とご家族との関係の理解に努めている。ご家族参加の行事を通し、楽しい時間を共有する事により、より良い関係が築いていけるよう支援している。	○	なかなかご利用者からご家族への敬いの言葉を掛ける機会がないので、誕生日会には手紙を渡したり、文化祭にご家族を思うメッセージカード等で本人の気持ちを伝え、絆を深めている。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	随時面会の対応。又、ご家族の協力を得て、馴染みの場所への外出や地域の理美容室に掛かるなどしている。	○	地域へ出る機会を多く設けて行きたい。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日々の生活の中から、ご利用者一人ひとりの性格、ご利用者同士の関係を把握し、孤立する事のないよう支援をしている。また、利用者同士の助け合いは、危険を共わない限り見守っている。		孤立しがちなご利用者には職員が声を掛ける等して、皆の仲間に入れるようにしている。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後、ご利用者のご家族がホームでの思い出を懐かしみ遊びに来荘されるが、笑顔で対応し、時に胸の内を傾聴している。又、レクリエーション活動の講師等もお願いして交流を持っている。		ホームとの繋がりを望むご家族には行事のお誘いもしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のシートを使い、思いや希望を日常生活の中から聞き取り、把握に努めている。アンケートや入所者集会で、行ってみたい場所やこんな事をして欲しいなど話し合っってニーズを掘り下げた。又、ホームで対応困難な事例はご家族の協力を得た。	○	特にないという方がいる。職員の聞き取り方にもバラつきがあるので、日常会話の中で自然な流れで聞き出せる様に努めたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の協力を得て持ち帰ってもらい、思い出せる部分は出来るだけ記入頂ける様センター方式のシートを渡している。又、入居された時記入を願っている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	心身に大きく変化があり、生活リズムが混乱したり排泄パターンが乱れがちのご利用者など、日常生活上個性の強い方を理解する時等、24Hシートを使い状況の把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	習慣的に行うケアの内容は個々の日課表に組み込み、本人やご家族が今したいこと・して欲しいことを第一のニーズに持っていくようにしている。居室担当者は、日頃からご家族に相談し意見を聞くようにしている。	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回のサービス担当者会議に必要な応じ見直しを行っている。急な変化があった時には介護計画を見直し、新規作成をしている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		<p>入所時や、ご利用者の状態変化時等必要に応じて、ご家族にヘルパー家政婦協会や「あすてらす」の説明も行っている。</p>
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源と協働</b>			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	○	<p>地域の行事に出来るだけ積極的に参加していきたい。</p>
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		<p>協力を得て地域資源、ネットワークの拡充に努めていきたい。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	<p>今後もD rとの連携を図り、適切な医療を受けられる様支援したい。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>入所期間が長い事で、認知症も進んでくるため、カンファレンスを行いご家族の協力を得、主治医とも連携を図り支援していきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>必要に応じご家族、主治医院が遠方の場合等には、利用を検討したい。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>退院後の生活に対しても分からない事は再度連絡を取り、安定した生活が送れるよう連携を図っている。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>ご家族懇談会にて、ホームとしてターミナルケアは行っていない事を再度説明していきたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>かかり付け医院、ご家族とも十分連携を図り、誤解が生じない様、対応支援していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	職員のレベルアップの為に継続していきたい。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	利用者が何を考え何を望んでいるのかコミュニケーションを通して、理解して行きたい。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	その人らしい、ゆとりある生活を支援して行きたい。
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	馴染みの地域の美容室に掛かれる様ご家族懇談会に声掛けをしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>行事食、誕生食等希望を伺っている。季節によっては屋外でパーティー式、バイキング式を取り入れ楽しくおいしく召し上がって頂ける工夫を今後も継続していきたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>入浴は、ご利用者と職員が1対1でゆっくりコミュニケーションが取れる時間なので有効に活用していきたい。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>一人ひとりとコミュニケーションを図り、本当に望んでいる事を分かるよう努力をしていきたい。</p>


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	○	<p>その日の天気や状況により、ふいにドライブや公園への散策に出掛けている。今後もそういった機会を増やして行きたい。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		<p>今年は新インフルエンザの影響で観劇や一泊旅行を実施する事が出来なかったが今後継続して実施したい。又、個別対応の外出支援を行いたい。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	○	<p>継続して行きたい。</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>今後も身体拘束をしないケアの実践に努めたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>今後も外部の研修に参加し知識向上に努めたい。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>普通救命の講習会をコンスタントに行って行きたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>消防点検、避難訓練等地域の消防署の指導、協力を得ている。又、防災用マット・カーテンを使用している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		<p>内服薬の準備は複数の職員で確認し、誤配の予防に努めている。内服時薬も手渡し服用を確認している。今後も事故防止に努めて行きたい。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	<p>摂取量の少ないご利用者はDrに相談し、食事の他に栄養剤にて補給している。又、水分量の少ない方は嗜好品の提供により補っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成し、皆で共有することで、手洗いうがいマスクの着用等の徹底に努め、換気、加湿器で温度調節をし、ハセッパ水の水の噴霧も行っている。玄関に消毒液、マスクの設置を行っている。インフルエンザの予防接種も実施している。	○	感染症についての内部研修を行っている。正しい知識を持ち予防対策に努めたい。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食後、布巾、まな板等漂白や日光消毒を実施している。冷蔵庫、食品棚は常時清掃、整理を行っている。食材は使用に合わせて、毎朝業者から配送される。食中毒についても毎食検食を取り、食材は加熱調理を行っている。全職員が周知徹底している。	○	
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設入り口には分かりやすい表札が掛かっている。建物周りには四季折々の花や野菜を植栽し楽しんでいる。翠の棟前に観音様が設置されており、その表情にご利用者、職員、ご家族が癒されている。良い天気の日にはベンチを置き、お茶会やレクリエーションが行われる。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、ホール、廊下等には季節にあった手工芸品、写真、絵画等を飾っている。季節の花や観葉植物を食堂、ホール、テーブルに置き、ご利用者の目を楽しませている。台所、トイレ窓にはカフェカーテンがしてある。翠の棟は緑のイメージカラーなので、食堂の椅子も緑で統一されている。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールには棟のイメージカラーに合わせた緑のソファが設置してあるが、ご家族が持参された椅子もある。特定の席が決まっている方以外は自由に座り、談笑やTV、お茶を楽しんでいる。足裏マッサージのスペースが設けてあり、思い思いに使用されている。また食堂の椅子を窓際に移し、ひとり手芸を楽しむご利用者もいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	生活用品、寝具などは本人が使用していたもの、ご家族が使いやすいと考え選んできたものを使用している。整理整頓と共に本人が使いやすいところに物を配置し、居心地よく生活できる部屋作りを行っている。又、ご主人の御仏壇を持って来て毎日お茶、ご飯をお供えしているご利用者もいる。	○	
84	午前、午後必ず1回以上声を掛けてからホール、廊下の一斉換気を行っている。温度調節はご利用者の状態、その日の気温等を配慮し設定している。また、自室も必要に応じ換気している。台所、浴室、洗面所、トイレ等は換気扇をまわしている。		使用済みパットを押し入れやタンスに仕舞われてしまうご利用者に関しては、ご利用者が入浴、買い物等行っている時に自室の整理やパットの確認を心掛け、臭いに注意を払っている。
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>			
85	本人が一番座りやすい椅子をご家族の協力を得てホールでも使用している。またふらつき等あるご利用者は自室でポータブルトイレを使用する事により、自立した排泄行為が出来ている。		
86	廊下は回廊式になっており、どのルートからでも職員カウンターに通じ、混乱のないよう誘導状況を作っている。自室が分からないご利用者には名前プレート以外に目印になる飾り付けをして分かるような工夫をしている。どうしても分からない場合、自室案内を行う。		
87	ご利用者が散策の際、一休みできるよう、ところどころにベンチが設けてあり、座って、四季折々の花を眺めたり、レクリエーションを行ったりして、楽しまれている。またベランダではご利用者と一緒に洗濯物干し、植木の水やり等も行っている。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ご利用者一人ひとりの心身の状態を把握。その方に合った自立支援をし、出来る力を大切にしている。また、ご家族との情報交換を密にし、自立支援に伴うリスクについての理解と協力も得ている。
- ・接遇を学ぶ事により、ご利用者の尊厳を念頭に置いた良質なサービスの提供を行っている。
- ・各種ボランティアを通して地域との繋がりを強化、広める努力をしている。